

初心者から上級者までが広く運転技術を体得できる有意義なドライビングレッスン

まずは太田さんが教える濃厚な座学講義から



午前の約1時間の座学講義では、太田さんがステアリングの握りやドライビングポジション、荷重移動の基礎、タイヤの摩擦円の法則、現代のクルマにおけるブレーキの使い方、コーナー形状によるクリッピングポイントの取り方の違い、走行シーンや車両タイプ別による走行ラインの考え方・取り方など、あらゆる項目を理論的に解説。

Feature



最新VWラインナップの試乗イベントも併催!

パドックでは「シロコTSI」「トゥアレグ ハイブリッド」による体験試乗会も開催。また、東日本大震災の支援活動に活躍したシャランの展示も行なわれた。

充実の閉会式。最後は参加者・スタッフ全員でTUBEによる震災チャリティーソング「RESTART」を熱唱!



閉会式では太田さん以下講師陣による総評やスパタイGPの表彰式が。本誌出身のモータージャーナリスト、まるも亜希子さん(現在太田哲也さんとともにニッポン放送のラジオ出演中)も来場し会場を盛り上げてくれた。またイベントをサポートする出光興産やフォルクスワーゲン・グループ・ジャパンより、参加者に嬉しい景品やお土産の提供も。最後は恒例、TUBEによる震災チャリティーソング「RESTART」の熱唱!

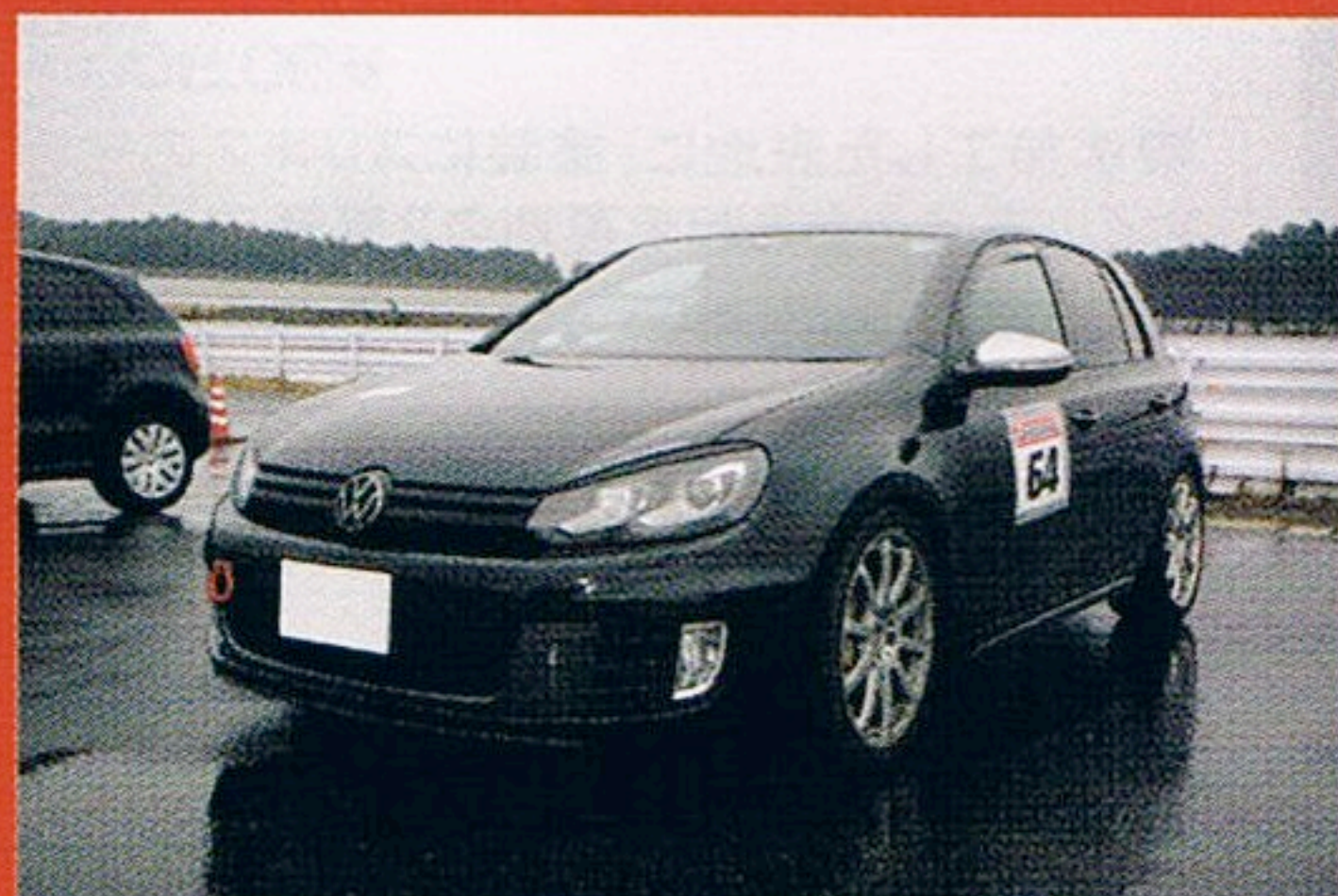
Interview with participants



重田真一さん

ホンダ シビック タイプR ユーロ

太田哲也さん、伊藤真一選手、青木拓磨選手など有名なプロドライバーの皆さんの意見を間近で聞け、そして同乗試乗もできて本当にありがたいと感じました。特に同乗試乗では、普段では体験できないような凄いGを感じ「これがプロのドライブだ!」と実感できました。



桑原信吾さん

フォルクスワーゲン ゴルフGTI

同乗試乗では伊藤選手がドライブするゴルフGTIに乗ることができたのですが、同じクルマなのに自分の知るGTIの走りとは全然違うんです! GTIの本当の実力を知ることができました。またウェット路面のおかげで、クルマの動きもより分かり易かったです。



杉田宏英さん

アルファ・ロメオ147 2.0 TS セレスピード

太田さんのスクールには去年6月に初参加して以来、今回が3回目になります。走行ラインひとつをとっても、ただトレースするだけではなくしっかりと荷重をかけながら走ってあげることが大切なんだということなどを体感できるようになりました。



野島一朗さん

シトロエン サクソVTS

今回が初参加です。サーキットの走り方とともに、クルマを安全に走らせる技術を学びたいと思い参加しました。伊藤選手の同乗試乗走行では、速さはもちろん運転があまりにスムーズでびっくりしました。伊藤選手は憧れの2輪レーサーでもあるので感激しました!

先導走行でラインを確認。コースを習熟



午後の1stセッションは伊藤真一選手、青木拓磨選手による先導走行。4周の完熟走行のうち、メインストレート通過のたび両選手の直後につく車両を入れ替えながら走行するため、多くの参加者が実践ラインを掴むことができる。今回、ご家族やお子様、友人を自分の愛車に乗せて走行することができた。

座学講義と先導走行を踏まえ、いよいよフリー走行へ。講師による同乗走行も!

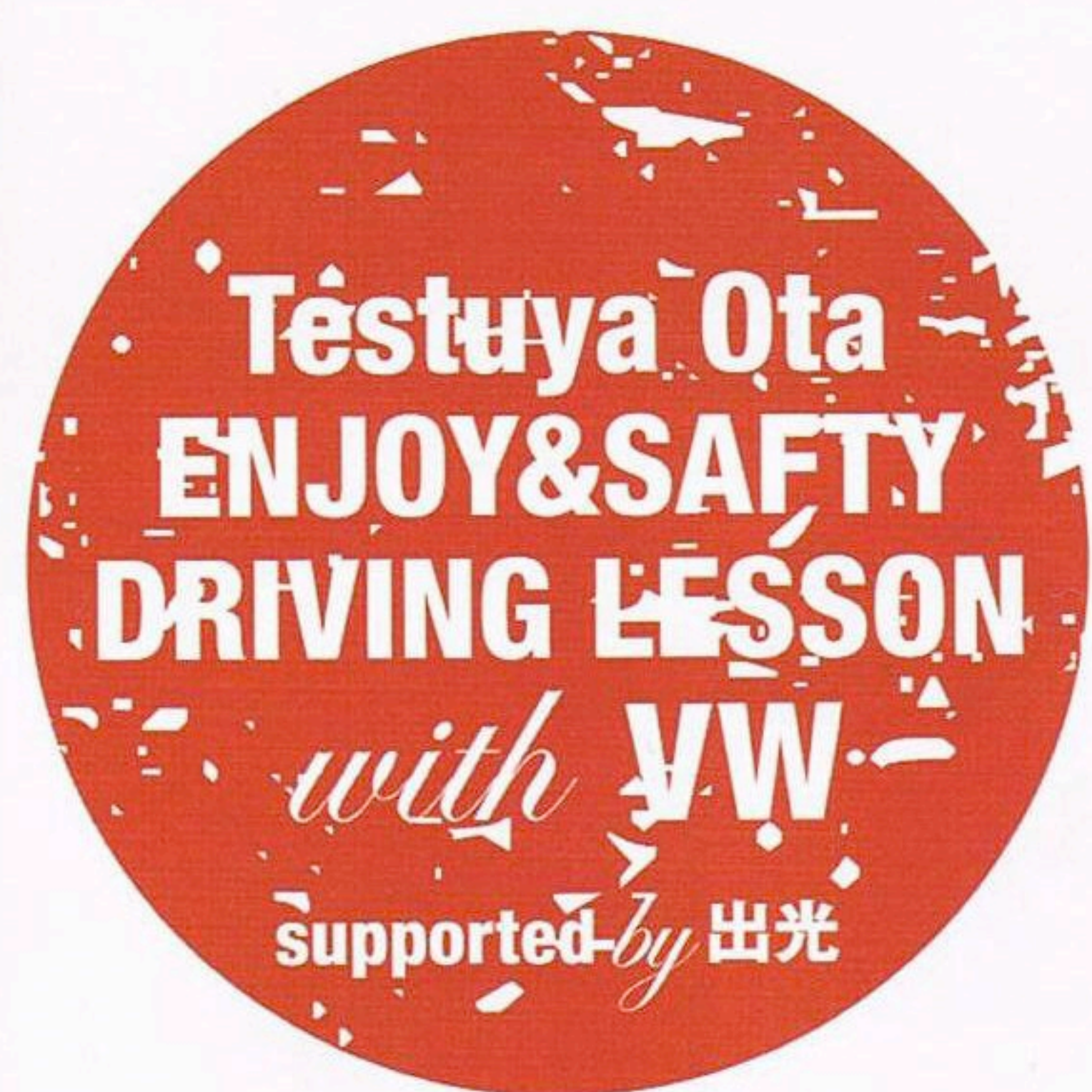


午後の2ndセッションは待ってましたのフリー走行。15分×2本の走行とともに、その合間を縫うように参加者全員が太田、伊藤各選手いずれかのドライブする教習車による同乗走行体験できるようになっている。プロドライバーの走行レクチャーも得ながら、フリー走行に臨むことができるのだ。また最後には好評の1ラップタイムアタックイベント「スーパータイムアタックGP」も開催された(参加希望者のみ)。



教習車には話題の小型ムービー「GO PRO」を装着した。録画した鮮明な車載映像は、参加者へ向けた上映会で使用した。





ウェット路面も何のその!

太田哲也直伝の運転理論で ドライビングマイスター一直線!!

日本一のフェラーリ使いとしても名高いドライビングマイスター、太田哲也さんを主宰とする恒例のドライビングレッスン。今年最初の舞台となったのは袖ヶ浦フォレストレースウェイだ。豪華な講師陣、そして最新フォルクスワーゲン・ラインナップとともに行なわれたレッスンの模様をレポートする。

主催：太田哲也スポーツドライビングレッスン事務局 協力：出光興産 フォルクスワーゲン・グループ・ジャパン／ブリヂストン／タジマモーターコーポレーション 取材・撮影：日岐まほろ

座学講義と実技講習で 短時間にスキルアップ

レーシングドライバーの太田哲也さんを主宰とするドライビングスクール『Tetsuya Ota Engineering & Safety by 出光』は、サーキットを舞台とした走行実技レッスンに加え、太田さん自身がレース活動を通じて得たドライビング理論を、座学講義とともにじっくりと学ぶことができるイベント。運転の上達をテーマに掲げるクルマ好きの間で、高い人気を誇っている。

2012年最初のレッスンは1月22日、袖ヶ浦フォレストレースウェイを舞台に開催。30名の参加者とともに、今年も太田さん直伝のプライベートルードドライビングレッスンが幕を開けた。

同スクールの特徴のひとつは、たっぷり時間をかけて行なわれる濃厚な座学講義だ。冒頭、太田さんが参加者に必ず伝授するドライビングのテーマが「慣れる前に習え、そして考えよう」というもの。ドライビングとは、まず理論ありきであり、その理論をもとに考えて走ることから導き出される結果「速さ」こそ意味がある。また、理論を理解したうえで実際の走行を行うので、クラッシュなどのアクシデントも予防することができるのだ。



ドライビングスクールの校長を務める太田哲也さんに加え、特別講師として2輪ロードレーサーの伊藤真一選手と青木拓磨選手が来場。先導走行車や、同乗走行車のドライバーも担当した。

フォルクスワーゲンの最新ラインナップがスクールをサポート



今回のドライビングレッスンは、フォルクスワーゲン・グループ・ジャパンのサポートによりフォルクスワーゲン最新モデルが多数来場。教習車として用意されたのは「ゴルフGTI」「ゴルフR」「シロッコR」の3車。ウェット路面にも決して動じない圧倒的なスタビリティには、3名の講師全員が賞賛を送った。

このレッスンも、こうした活動の輪のひとつとして行なわれているもの。クルマを愛するアツキハートを持った皆さん、今年はずいぶんTetsuya Ota Engineering & Safety by 出光に参加し、太田哲也イズムを体感してみよう!

この座学講座をベースとしたサーキット走行実技ももちろん充実。今回のレッスンでは特別講師としてロードレーサーの伊藤真一選手、青木拓磨選手の豪華講師陣がスタンバイ。まずは両選手のドライビングによる先導走行が行なわれ、参加者は正確な走行ラインを確認。当日はあいにくの雨により終始ウェット路面での走行となったが、後半のフリー走行では順調にタイムを伸ばしていた。参加者からは「ウェットの走り方を学べるドライビングレッスンというのは、非常に貴重な体験で、とてもためになりました」との声も聞かれた。

太田さんは、クルマの楽しさ、セーフティドライブの大切さを広めるべくラジオ番組組（ニッポン放送）へのトーク出演も行っているほか、クルマ社会を支える新たな人づくりを担うべく、全国の中学校への出張授業や講演活動を実施。クルマ社会に身を置く自身の経験をもとにチャレンジすることの大切さを次の世代へと伝えている。